

1. 「広報いせ7/15号」に、家庭での使用済注射針をプラスチック製容器包装収納網袋へ排出されているケースが、“たびたび”ある、受診医療機関への返却をするよう注意喚起がありました。同収納網袋に触れる利用者、作業者が“針刺し”の可能性が全く無いとは思えません。在宅医療廃棄物は一般廃棄物であるものの注射針の種類、使用経歴によっては危険性もある事から、環境省「在宅医療に伴い家庭から排出される廃棄物の適正処理について（平成17年9月8日、平成10年7月30日衛環第71号）」や「在宅医療廃棄物適正処理ガイドライン（H20日本医師会）」に示されているように適正処理の徹底を図るため、当該医療機関等から患者への廃棄方法等について周知の協力依頼や「伊勢市（保存版）H25年度～ごみの分け方・出し方」に、もっと分かりやすい記載や別途「在宅医療廃棄物の分別・排出方法」について、リーフレット等による周知も必要のように思われました（広報は配布時に目をとおしますが、なかなか繰り返し読むことはあまりありません）。一方、薬局回収を行っている自治体も有る様ですが本市では実施されているのでしょうか。

2. 水銀入体温計の排出について

水銀入体温計は、前記「ごみの分け方・出し方」には、“蛍光管の中に入れてください”とありますが現在でも、変わりありませんか、破損した場合に水銀の漏れは発生しないでしょうか。

## 回答

平素は、ごみの減量化・再資源化にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、貴重なご意見、誠にありがとうございます。

ご提案・お尋ねいただいたことについては、次のとおりお答えします。

### 1. 在宅医療廃棄物の排出等について

ご承知のとおり、注射針等の鋭利な物は医療機関等へ患者等が持ち込み、感染性廃棄物として処理することとされています。

このことについて、市では平成28年10月1日号広報いせと同時配布いたしました「ごみ分別ガイドブック（保存版）」でもご案内しております。

また、伊勢地区医師会からも定期的に医療機関や患者に対して周知していただいているところでございます。

なお、薬局での回収につきましては、現在行っておりませんが、伊勢薬剤師会にご提案をお伝えしたところ、今後の検討課題であるとのことでした。

### 2. 水銀入り体温計については、「蛍光管回収ボックス（ふた付き）」にて回収しております。

排出されるときは、破損すると危険ですので専用ケースに入れたままお出してください。

なお、体温計に使用されている水銀は無機水銀で、体温計が割れて1本分の水銀を誤飲しても、ほとんど無害で2～3日後には便として排出されるといいます。ただし、気化した水銀を吸入した場合は、発熱等の症状が現れる場合があるそうですので、破損しないように排出いただきますようお願いいたします。

ごみの排出方法等につきまして、今後も市民のみなさまにわかりやすく効果的にご案内できるようにしてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

清掃課（2017年8月回答） [8/11～8/18]

## 環境

\*\*\*\*\*

提案・意見

ロケット花火の騒音被害について

昨年県外から伊勢市へ引っ越してきたものです。  
近くに果樹園があり、獣害対策のロケット花火の銃声に困っています。  
果樹園の方の苦勞も理解できます。ただ、朝、銃声で目覚める不快な気持ち、日中鳴り響く銃声への精神的苦痛は、近隣住人にとっては仕方のないことなのでしょう。  
長く住まれて諦めてしまっている方もいるかもしれませんが、生活音に銃声があるのは、異常です。心臓が少し悪いので、突然の爆音にドキッとするたび、怖いです。平穩な毎日を過ごしたいです。  
こういった声は今までもあったと思います。ただ、その声を、伊勢市は、どれだけ真摯に受け止めてきたのでしょうか。  
どこの田舎も同じだから我慢するのが当たり前とか、都会の人は口うるさいなどと声に耳を傾けないようでは、永久に問題は解決できないと思います。  
田舎暮らしに憧れて移住してきても、これでは、子育ての環境としてもよくないので、少子高齢化はより進むでしょう。  
果樹園の方の生活を守るのと同様に、近隣住人の生活も大切に考えてください。  
電気柵ではだめですか。音がならない方法で、動物を追い返す対策をお願いいたします。  
少なくとも、近隣住人に犠牲を強いるロケット花火を、安易に推進するのはやめていただきたいです。  
何卒よろしくをお願いいたします。

回答

ご意見いただきました件につきまして回答させていただきます。  
サルによる農作物の被害を減少させるためには、「集落ぐるみでの追い払い活動」、「不用意な餌場をなくすこと」、「隠れ場所や逃げ場所を減らすこと」、「農地における適切な柵の整備」の4つが適切に行われたうえで、必要に応じて捕獲をすることが重要となっています。そのため、農林水産課では、集落ぐるみで追い払い活動に取り組んでいただくということで、自治会単位で追い払い用の花火を支給させていただいております。このような地域の方による追い払い活動が被害減少に必要な対策の一つであるということもご理解いただきたいと思います。  
また、早朝からの追い払い活動や日ごろからの追い払い活動により不快感を覚えられたことにつきましては、詳しい内容をお聞かせいただくことにより、自治会と具体的な対策などお話しさせていただくこともできますので、よろしければ農林水産課（0596-22-3070）までご連絡をいただきますようお願いいたします

担当課

農林水産課（2017年8月回答） [8/11～8/18]

## まちづくり

\*\*\*\*\*

提案・意見

宮川堤防広場（旧宮川グランド）の鍵の開放要望

伊勢市長様

○宮川堤防広場（旧宮川グランド）の開錠をお願いしたい。

義兄が車椅子の利用者で涼しい朝晩に堤防上を散策したいが、鍵が入り入れない。健常者は歩いたり自転車で堤防上を利用しており、車椅子でも利用できるよう安心して駐車出来るよう開錠を以前電話（総務課）でお願いしたら、国交省の管理下だとの話であったので、市役所から話して欲しい旨話したが未だ開放されません。国交省に聞いたら、その広場は都市計画公園（伊勢市の管理下）であるとの回答でした。これってそんなに難しいことでしょうか？車椅子利用者はこんなことでも差別される寂しい境遇なのではないでしょうか。車椅子利用者にもささやかなる願いを賜りますようお願い申し上げます。

回答

平素は市行政にご理解、ご協力いただき、また貴重なご意見ありがとうございます。

さて、ご投稿いただきました件につきまして回答いたします。ご要望の広場ですが、国交省の堤防改修の際に整備されたものを市が引継いだもので、広場については市の管理ですが、入口の開錠については国交省が管理しております。

市管理の広場については、現在、車止めも駐車枠もなく駐車場として整備されていないため、車の転落、堤防上の通路利用の歩行者などとの事故の危険がありますので、現状では市としては開放は考えておりません。

今後、車椅子利用者の方にもご利用いただけるよう、国交省とも協議し入口の改修、駐車スペースの確保等を検討していきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

維持課（2017年8月回答） [8/11～8/18]

# 防災

\*\*\*\*\*

提案・意見

防災無線

台風の季節になってきましたが行方不明者の放送はされますが災害の放送は聞いたことありません、一人の命より伊勢市全体の命でありこれからは防災関係はつねに放送されますよう宜しくお伝えします。これで台風シーズン5から6回電話しているのですから市民の声があるかぎり理屈はいりません、実行してください。

回答

台風に関係する市の防災行政無線の放送内容につきましては、避難情報の発令や自主避難所の開設、特別警報の発表などがあります。  
去る8月7日に接近した台風5号に伴う災害対応においては、防災行政無線で自主避難所の開設や土砂災害に関する避難情報（避難準備・高齢者等避難開始）の発令を放送したところです。  
現在は、そのほか台風接近前に市民に注意喚起を呼びかける放送も検討しているところであり、今後も市民一人ひとりの命を守るため、積極的に防災行政無線のほか様々な手段を用いて災害情報の発信を心がけていきたいと考えています。

担当課

危機管理課（2017年8月回答） [8/11~8/18]

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

いせトピアの椅子について

体の不自由な人が休むいすの数が少ない。すこし置いてください。

回答

日頃は、いせトピアをご利用いただき、ありがとうございます。  
このたびは、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。  
ご要望のありました休憩用の椅子の設置につきまして、改善策を検討  
しました結果、新たに、1階ロビーに長椅子を2脚設置させていただく  
ことにしました。

1階は、「ふれあい広場」という空間に加え、避難経路や館外への非  
常口も確保しなければならないことから、設置場所に限りがございます。

ご要望に対し、十分なお答えとなっていないかもしれませんが、ご理  
解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、皆様に気持ちよくご利用いただける施設運営を目指す所存  
でございますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

担当課

社会教育課（2017年8月回答）〔8/11～8/18〕

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

御菌村の記念碑について

国道23号線、ケーズ電機横に厚みのある石作りで「御菌村」と刻ってある。

伊勢市、小俣町、二見町、御菌村の市町村合併でかれこれ10年が経過しているが、いつまでこの状態が続くのか、まぎらわしいし他町から来た人がここは村なのかと思うだろう。

伊勢市御菌村なのだろう。市役所はどうも思わないのだろうか？

設置場所は歩道の一部なので国が管理なのだろうか。

日韓問題の慰安婦少女像なら国はすぐにでも撤去するだろうが「御菌村」という石に市民が関心がないのか？

解体するとなると費用が掛かりためらっているのだろう

### 回答

このたびは、市政への提案箱にご投稿いただき、ありがとうございます。

ご指摘の石碑につきましては、新伊勢市合併前の平成16年に、御菌村、村制施行115周年を記念して建立されたモニュメントです。

御菌村の歴史を象徴する記念モニュメントとして、「神領と天領の郷」や村内の史跡などが刻まれており、御菌村の名前を後世に残したいという思いが込められています。行政区域を表示しているものでなく、まぎらわしいとのご指摘でございますが、御菌の歴史に触れる機会を提供していくための貴重な財産ですので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、モニュメントが建っている場所は、伊勢市所有（当時は御菌村）の排水路敷きを利用しています。

担当課

御菌総合支所生活福祉課（2017年8月回答） [8/11~8/18]